

時間帯	ぐんぐんタイム	4・5月（6モジュール時間：2時間）		
目標	小学校生活の中で見つけた疑問や発見を友達と共に解決したり、共有したりしている。			
チェック	時間	学習活動	評価の視点<評価方法>	主題構成の理由
□□□	3	<p>○教科書「みんなで たのしく」の場面絵を見ながら、話題「みんなで仲よくしているのは、どこだろう」について、ペアの友達や教師と話し合う。</p> <p>○話題を転換し、「みんなで仲よくできていないのは、どこだろう」について、ペアの友達や教師と話し合う。</p> <p>○二つの話題を振り返り、「これから、どのように友達と仲よくしたいか」について、ペアの友達や教師と話し合う。</p>	<p>◇友達と仲よくすることのよさについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いた りしている。 ＜発言・うなずき＞</p>	<p>主題「みんなでなかよく」（B友情，信頼①） 一つ目の話題では、自分の生活経験を想起しながら、学校生活において友達と関わる場面を話し合い、それを学級全体で共有することで、友達と遊んだり、活動したりすることの楽しさに気付くことができる。 二つ目の話題では、学校生活において友達とうまく関わられていない場面を話し合い、それを学級全体で共有することで、友達と仲よくしたいという気持ちに気付くことができる。</p>
□□□	3	<p>○教科書「あいさつで げんきに」の場面絵を見ながら、話題「あいさつをすると、どんな気持ちになるのだろう」について、ペアの友達や教師と話し合う。</p> <p>○話題を転換し、「あいさつをされた人は、どんな気持ちになるだろう」について、ペアの友達や教師と話し合う。</p> <p>○二つの話題を振り返り、「これから、どんなあいさつをしたいか」について、学習シートに提示されている場面絵に丸印をつける。</p>	<p>◇あいさつを交わすことのよさについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いた りしている。 ＜発言・うなずき＞</p>	<p>主題「あいさつばわあ」（B礼儀①） 一つ目の話題では、自分の生活経験を想起しながら、朝から晩まで様々な人に挨拶をする主人公の気持ちを考え、それを学級全体で共有することで、あいさつを交わすと嬉しい気持ちになることに気付くことができる。 二つ目の話題では、あいさつをされた人たちの気持ちを場面絵を手掛かりに考え、それを学級全体で共有することで、あいさつは、周りの人の気持ちも明るくすることに気付くことができる。</p>
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題「みんなでなかよく」について：教科書「どうとく ゆたかなこころ」（光文書院）を用い、10～11 ページの場面絵をモニターに映しながら、話し合う。話題の答えを聞く際には、「どうして、そう思ったの。」という話形を積極的に用い、理由を聞き出すようにする。また、場面絵の中のイラストに丸を付ける形式の学習プリントを用意し、自分の考えを表現できる機会を設定する。 ・関連「なかよし タイム」の校庭での外遊びの様子を写真に収め、振り返りの前に提示することで、自己の関わりで学習内容を振り返りやすくすることができる。 ・主題「あいさつばわあ」について：教科書「どうとく ゆたかなこころ」（光文書院）を用い、12～13 ページの場面絵をモニターに映しながら、話し合う。話題の答えを考える際には、視点カード「〇〇の気持ち」を用いて、主人公だけではなく、あいさつをされた周りの人の気持ちを考えられるようにする。 ・教材の中の、あいさつをする具体的な場面について、役割演技を通して各自の気持ちの理解を深めてもよい。 ・関連「わくわく タイム」の学校探検で出会う校内の人たちとのあいさつの場面を想起させることで、あいさつを交わすことのよさを実感することができる。 				

道徳 1年1学期

1年-No.3	あんぜんにきをつけて	A 節度, 節制①	4月(1時間)
ねらい	事故に遭わないように, 急いでいても安全に気を配って生活しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	あおしんごう(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 急いでいてもいつも通り安全に気を配っていた主人公の姿から, 安全に気を付けることについての問題意識をもつことができる。展開では, 急いでいるときといつも通り安全を確かめたときの主人公の気持ちに着目して考えることで, 急いでいてもいつも通り安全に気を配ることが大切であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○登下校時に気を付けていることについて発表し合い, 学習課題「横断歩道を安全に渡れたのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, 安全に生活することの大切さについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・関連-入学式後の下校指導の前に実施するとよい。			

1年-No.4	きまりをまもろう	C 規則の尊重①	5月(1時間)
ねらい	きまりの意義を知り, みんなが気持ちよく生活できるように, きまりを守って生活しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	みんなでまもろう(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 学校生活でのきまりに関する場面絵から, たくさんのきまりがある理由についての問題意識をもつことができる。展開では, 教科書の4つの場面についてきまりを守ったときと守っていないときの物や人の気持ちに着目することで, きまりを守ることが大切であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○学校内のきまりについて発表し合い, 学習課題「きまりがたくさんあるのは, どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら, きまりを守って生活することの大切さについて, 自分との関わりで考えたことを, 発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・視点カード「自分だったら」を用いて, きまりを守って使われていない物の気持ちを考えられるようにする。また, 視点カード「自分の経験」を用いて話し合う。			

道徳 1年1学期

1年-No.5	みんなありがとう	B 感謝①	5月(1時間)
ねらい	学校の中ではたくさんの方が自分たちの世話をしてくれていることに気づき、それらの人々に感謝の気持ちを伝えたいという道徳的心情を養う。		
教材	がっこうたんけん(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、2年生に声をかけてもらって嬉しそうにする主人公の姿から、伝えたい言葉についての問題意識をもつことができる。展開では、自分たちの世話をしてくれている人たちに着目して考えることで、学校の中ではたくさんの方が自分たちの世話をしてくれていて感謝の気持ちを伝えたいということに気づくことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○学校探検で出会った人々を発表し合い、学習課題「普段お世話になっている人にどのようなことを伝えればいいのか」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら、感謝の気持ちを伝えることの大切さについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】	・関連-生活科「がっこうたんけんをしよう」の学習の中で気付いた、附属小で働く人や教職員へのインタビューの内容と関連付けられるとよい。		

1年-No.6	はたらくとみんながいいきもち	◎C 勤労,公共の精神①	5月(1時間)
ねらい	働くと、みんなが気持ちよく過ごせることに気づき、みんなのために働こうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	そうじの時間だ(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、仕事に前向きに取り組もうとする主人公の姿から、働くことについての問題意識をもつことができる。展開では、働いたときの周りの人の気持ちに着目して考えることで、働くと、みんなが気持ちよく過ごせることに気づき、みんなのために働こうとする思いを高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分が行っている学校の中での仕事について発表し合い、学習課題「働くのは、どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら、みんなのために働くことのよさについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】	・視点カード「自分だったら」を用いて、そうじをしてもらった教室とそうじのされていない教室とで生活するときの気持ちを対比しながら働くよさを考えられるようにする。また、視点カード「自分の経験」を用いて話し合う。		

道徳 1年1学期

1年-No.7	いのちのすばらしさ	◎D 生命の尊さ①	6月(1時間)
ねらい	嬉しかったり悲しかったりするの命が輝いている証であることに気づき、生きる喜びを感じながら生活したいという道徳的心情を養う。		
教材	みんなみんないきている(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、「手のひらを太陽に」の歌詞から生きていることとは何かについての問題意識をもつことができる。展開では、うれしかったり悲しかったりする経験を発表し合うことで、うれしかったり悲しかったりするの命が輝いている証であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○生きていると感じるときについて発表し合い、学習課題「生きていると、どんなよいことがあるのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら、生きていることのよさについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・「手のひらを太陽に」を音楽の授業等で歌っておく。			

1年-No.8	たいせつないのち	◎D 生命の尊さ②	6月(1時間)
ねらい	一人一人の命は、多くの人に祝福されて誕生したかけがえのない命であることに気づき、命を大切にしたいという道徳的心情を養う。		
教材	おたんじょうびれっしゃ(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、お誕生日列車に乗った子どもたちが祝福されている場面絵から、誕生日を祝うことについての問題意識をもつことができる。展開では、自らの誕生日を祝ってくれる人を想起することで、一人一人の命は、多くの人に祝福されて誕生したかけがえのない命であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○誕生日にすることを想起しながら、教科書のお誕生日列車に乗った子どもたちと自分の経験の違いについて発表し合い、学習課題「誕生日をお祝いするのは、どうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら、命の大切さについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・視点カード「〇〇の気持ち」を用いて、誕生日を祝福する人や自分の家族の気持ちを考えられるようにする。また、視点カード「自分の経験」を用いて話し合う。			

道徳 1年1学期

1年-No.9	ありがとうのこころ	B 感謝②	6月(1時間)
ねらい	自分たちの安全を考えて登下校の際に地域の人が見守ってくれていることに気づき、それらの人々に感謝の気持ちを伝えたいという道徳的心情を養う。		
教材	がっこうまでのみち(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、主人公の登下校を見守る人々の姿から、見守ってくれる人がいることについての問題意識をもつことができる。展開では、主人公の登下校を見守る地域の人々の気持ちに着目して考えることで、自分たちの安全を考えて登下校の際に地域の人が見守ってくれていることに気づき、それらの人々に感謝の気持ちを伝えようとする思いを高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○登下校の際に出会う人を発表し合い、学習課題「地域の人が見守ってくれているのは、どうしてだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら、家族以外の身近な人への感謝の気持ちについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・身近な地域の人を共通認識することが難しいので、4・5月に行う交通安全教室で出会う方や守衛さん等のイラストを提示するとよい。			

1年-No.10	しょうじきなひと	A 正直, 誠実①	6月(1時間)
ねらい	明るく伸び伸びと生活するために、うそをつかないで生活しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	きんのおの(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、女神様の2人のきこりに対する対応の違いから、子どもたちはうそをつかないことのよさについての問題意識をもつことができる。展開では、2人のきこりの金の斧を見たときの気持ちを比較することで、子どもたちはうそをつくきこりに対してもやもやとした印象をもち、正直なきこりに対して明るく清々しい印象をもつ。そしてうそをつかないで生活することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○うそをついた経験を振り返り、学習課題「うそをつかないよさは何だろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら、うそをつかないで生活することについて、自分との関わりで考えたことを、発言したりうなずきながら聞いたりしている。 <発言・うなずき>	
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・視点カード「難しいとき」を用いて、うそをつかないで生活する難しさも考えられるようにする。また、視点カード「自分の経験」を用いて話し合う。			

道徳 1年1学期

1年-No.11	わがままをしない	A 節度, 節制②	7月(1時間)
ねらい	周りの人も自分も気持ちよく生活できるように, 自分勝手な行動をしないで生活しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	かぼちゃのつる(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 自分勝手な行動をするかぼちゃと迷惑する周りの生き物の姿から, 自分勝手をしてしまうことについての問題意識をもつことができる。展開では, 主人公に足りない気持ちに着目して考えることで, 自分勝手をしたい気持ちがあっても周りの人のことを考えて, 自分勝手な行動をしないことが大切であることに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ついやりすぎてしまった経験を発表し合い, 学習課題「わがままなことをしないために, どうしたらいいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら, 自分勝手な行動をしないことの大切さについて, 自分との関わりで考えたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>	
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・平仮名の学習の定着が見られる頃なので, 学習プリントに自分の考えを全員記述するよう指導する。 ・展開では, 視点カード「〇〇の気持ち」「自分の経験」「難しいとき」を用いて, 話し合う。			

1年-No.12	きもちのよいせいかつ	A 節度, 節制③	7月(1時間)
ねらい	学校や家で気持ちのよい生活をするために, 規則正しい生活をすることや, 整理・整頓をすること, 健康に気を付けること, 勉強をすることなどを, ちゃんとしようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ちゃんとのたつじん(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 教科書の学校や家での生活の場面絵から, 子どもたちはちゃんとできることのよさについての問題意識をもつことができる。展開では, ちゃんとできた時とできない時の心や体の変化に着目することで, 子どもたちはちゃんとできることのよさを考えることができ, 規則正しい生活をすることや, 整理・整頓をすること, 健康に気を付けること, 勉強をすることなどへの意欲を高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○学校や家での生活の中でできるようになったことを振り返り, 学習課題「学校や家での生活をちゃんとできると, どんなよいことがあるだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 規則正しい生活をすることや, 整理・整頓をすること, 健康に気を付けること, 勉強をすることなどについて自分との関わりで考えたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>	
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年1学期

1年-No.13	わたしのまち だいすき	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度①	7月(1時間)
ねらい	自分たちが住む地域の魅力に気付き, 愛着をもって生活したいという道徳的心情を養う。		
教材	まちたんけん(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 教材文にある千葉県大貫の好きなところを話す主人公の姿から, 地域の魅力についての問題意識をもつことができる。展開では, 自分の町の魅力を紹介し合うことで, 自分たちが住む地域の魅力に気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の住む町のすてきなところを発表し合い, 学習課題「自分の住む町の好きなところは, どこだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えながら, 自分の住む地域の魅力について, 自分との関わりで考えたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを発表し合う。		
【備考】 ・学区の広がりに伴い, 前橋市だけでなく, 高崎市や伊勢崎市などの近隣の地域に住む子どもがいるため, 前橋市の魅力(例:るなばあくやバラ園など)を中心に紹介しつつ, 他の市の魅力を知る機会にもできるとよい。			

道徳 1年2学期

1年-No.14	すききらいをしない	C 公正, 公平, 社会正義①	9月(1時間)
ねらい	誰に対しても公平に接するために, 自分の好みにとらわれず平等に接しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	ぶうたのやくめ(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 仲よしの子を特別扱いしようか迷ったが他の子と同じように接した主人公の姿から, 子どもたちは特別扱いをすることで周囲や自分に与える影響について問題意識をもつことができる。展開では, 特別扱いをしたりしなかったりした時の理由と結果に着目することで, 子どもたちは特別扱いをしないことで誰もが気持ちよく過ごせるというよさを考えることができ, 自分の好みに捉われず平等に接することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○特別扱いしてしまった経験を振り返り, 学習課題「みんなに同じ数ずつ飴玉を渡したのは, どうしてだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 自分の好みに捉われず平等に接することについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・場面絵をラミネートしたものが, 1学年フロアのロッカーの中に保存してある。 ・RO7は実習資料として扱った。			

1年-No.15	あかるいところで	A 正直, 誠実②	9月(1時間)
ねらい	人に見られたらいけないと思うことをすると暗い心になると気付き, 隠し事をせず明るい心で生活しようとする道徳的心情を養う。		
教材	おつきさまがみている(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 誰も見ていないからと言って人の家の柿をとろうとする主人公の姿から, 人に見られたらいけないと思うことをすることについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が柿をとらないで帰った心情に着目して考えることで, 誰に見られてもよい行動をすることで, 隠し事をせず明るい心で生活できると気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○人に見られたらいけないことをした経験について発表し合い, 学習課題「しよういち, どうして柿をとらなかったのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, 隠し事をせず明るい心で生活することのよさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年2学期

1年-No.16	ただしいことはすすんで	○A 善悪の判断, 自律, 自由と責任①	9月(1時間)
ねらい	正しいと思うことを進んでするために, 強い心をもって正しいことをしようとする道徳的判断力を養う。		
教材	ぼくはいかない(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 行ってはいけない場所に誘われて迷う主人公の姿から, 子どもたちはいけないと分かっているにもかかわらずしてしまうこともあることについての問題意識をもつことができる。展開では, してはいけないとわかっているにもかかわらず自分としない主人公を比較することで, してはいけない理由を考えることができ, 強い心をもって正しいことをすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○してはいけないことをしてしまった経験を振り返り, 学習課題「友達から誘われた時に, どうして断ったのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 強い心をもって正しいことをすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・教科書 p54「ゆうきのとびら」—それぞれの場面での声のかけ方を考えるとよい。 ・R07 は, 実習資料として扱った。			

1年-No.17	ルールをかんがえよう	C 規則の尊重② ※情報モラル	10月(1時間)
ねらい	周囲の人に迷惑をかけないようにしたり健康で安全に過ごしたりするために, きまりを守って生活しようとする道徳的判断力を養う。		
教材	ルールがないとどうなるの? —スマホやゲームきなどをつかうとき—(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 教科書のクイズから, 子どもたちはきまりを守らないと起きることについて問題意識をもつことができる。展開では, クイズの場面における適切なきまりとその理由に着目することで, 子どもたちはきまりを守ることで周囲の人に迷惑がかからなかったり自分自身が健康で安全に過ごしたりすることができるというよさを考えることができ, きまりを守って生活することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○家庭におけるルールを発表し合い, 学習課題「大切なルールは何だろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, きまりを守って生活することについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年2学期

1年-No.18	ものやおかねをたいせつに	A 節度, 節制④	10月(1時間)
ねらい	ものやお金の大切さに気付き, ものやお金を無駄遣いせずに使おうとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	うわばきぶくろ(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 新しいものを買わずにずっと同じ上履き袋を使い続けている主人公の姿から, ものやお金の使い方についての問題意識をもつことができる。展開では, 上履き袋が作られるまでに関わった人の努力と勤労に着目することで, 子どもたちはものやお金の大切さに気付き, ものやお金を無駄遣いせずに使おうとする思いを高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ものやお金の使い方を振り返り, 学習課題「ものやお金はどのように使うのがよいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, ものやお金を無駄遣いせずに使おうとすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。<発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

1年-No.19	マナーをまもって	◎B 礼儀②	10月(1時間)
ねらい	気持ちのよい振る舞いができるように, 場に応じた挨拶や言葉遣いをしようとする道徳的判断力を養う。		
教材	だいじなわすれもの(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, おやつのお礼を言いに戻った主人公の姿から, 子どもたちはお礼を言う必要性についての問題意識をもつことができる。展開では, お礼を言った時と言わない時のお母さんの気持ちに着目することで, 相手に敬意を示すことのよさを考えることができ, 場に応じた挨拶や言葉遣いをするものの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の挨拶や言葉遣いについて振り返り, 学習課題「どうしてひろみさんはもう一度お礼をしたのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, 場に応じた挨拶や言葉遣いをするということについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年2学期

1年-No.20	がんばるちから	◎A 希望と勇気, 努力と強い意志①	10月(1時間)
ねらい	努力を続けることで成長できることに気付き, 続けて頑張ろうとする道徳的心情を養う。		
教材	一にち十ぶん(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 漢字の練習を何度もあきらめそうになりながら続けた主人公の姿から, 子どもたちは粘り強く努力を続けられる理由についての問題意識をもつことができる。展開では, あきらめそうになっても努力を続ける理由に着目することで, 子どもたちは, 努力を続けることで成長できることに気付き, 続けて頑張ることのよさに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○続けて頑張っていることを振り返り, 学習課題「あきらめそうになっても練習を続けられるのはどうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, 続けて頑張ろうとすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

1年-No.21	いのちのちから	◎D 生命の尊さ③	11月(1時間)
ねらい	命がもつ力の偉大さに気付き, 力強く生きていこうとする道徳的心情を養う		
教材	さるのおかあさん・サヤカ(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 身体が不自由でも, 一生懸命に力強く生きるさるのサヤカの姿から, 命がもつ力についての問題意識をもつことができる。展開では, サヤカがもつ命の力に着目することで, 子どもたちは自分にも命の力があることに気付き, 力強く生きることのよさに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の命がもっている力を発表し合い, 学習課題「サヤカのすごい力は何だろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 力強く生きることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年2学期

1年-No.22	どうぶつとなかよし	D 自然愛護①	11月(1時間)
ねらい	動物と触れ合うと穏やかな気持ちになれることに気づき、動物に優しく接しようとする道徳的心情を養う。		
教材	うちのねこ（「どうとく ゆたかなこころ」光文書院）		
主題構成の理由	導入では、ペットの猫と触れ合う主人公の姿から、子どもたちは動物と触れ合っている時の気持ちについての問題意識をもつことができる。展開では、主人公がペットの気持ちが分かる理由に着目することで、子どもたちは動物に接することで感じる安心感や生命の尊さを考えることができ、動物に優しく接することの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○動物と触れ合った経験を振り返り、学習課題「どうして主人公はペットの気持ちが分かるのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり、動物に優しく接することについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

1年-No.23	学校をたのしく	C よりよい学校生活、集団生活の充実①	11月(1時間)
ねらい	学校生活を楽しくするために、上級生に親しもうとする道徳的心情を養う。		
教材	すてきなことは「あふたあゆう」（「どうとく ゆたかなこころ」光文書院）		
主題構成の理由	導入では、主人公たちに優しく声をかけてくれた上級生の姿から、子どもたちは上級生の魅力についての問題意識をもつことができる。展開では、自分たちが学校生活の中で感じた上級生の魅力に着目することで、子どもたちは分からないことを教えてくれたり一緒に遊んでくれたりする上級生の魅力を考えることができ、上級生に親しむことの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○上級生にお世話になった経験を振り返り、学習課題「なぜ6年生はみんなにやさしいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり、上級生に親しむことについて自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】 ・関連—おはよう活動での交流			

道徳 1年2学期

1年-No.24	あいてのきもちになって	B 親切, 思いやり①	11月(1時間)
ねらい	人に親切にすると, 心があたたかくなると気付き, 相手の気持ちを考えて接しようとする道徳的心情を養う。		
教材	ぼく, もちます(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 近所に住む人の荷物運びを手伝う主人公の姿から, 子どもたちは身近な人に親切にすることについての問題意識をもつことができる。展開では, 人に親切にしたときの周りの人の気持ちに着目することで, 子どもたちは, 相手の気持ちを考えて接すると心があたたかくなると気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○教材を読み, 近所に住む人の荷物運びを手伝う主人公についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「どうして, 人に親切にするのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 相手の気持ちを考えて接することについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・敬老の日と関連付けるとよい。			

1年-No.25	やさしいところ	B 親切, 思いやり②	12月(1時間)
ねらい	友達や幼い人に優しく接するために, 相手の気持ちを考えようとする道徳的心情を養う。		
教材	はしのうえのおおかみ(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 最初はいじわるをしていた主人公が優しくなった姿から, 子どもたちは優しくすることのよさについての問題意識をもつことができる。展開では, 優しくした時の主人公と相手の気持ちに着目することで, 子どもたちは優しくしたことで喜ばれると気持ちがよいし, 相手も嬉しいというよさを考えることができ, 相手の気持ちを考えることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○友達や幼い人に優しくした経験を振り返り, 学習課題「おおかみさんが優しくしたのはどうしてだろう」をつかむ。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, 相手の気持ちを考えることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・関連-生活科「ようこそ白ぐみ・みどりぐみ」(幼稚園児と触れ合った経験を想起させるとよい。) ・R07は人権週間と関連付け, 全校一斉道徳の日に実施した。			

道徳 1年2学期

1年-No.26	ともだちをおもうころ	B 友情, 信頼②	12月(1時間)
ねらい	友達と仲よくするために, 友達の気持ちを考えようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	二わのことり(「どうとく ゆたかなころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, やまがらを思い, 家に行ったみそさざいの姿から, 子どもたちは友達の気持ちを考えることについて問題意識をもつことができる。展開では, やまがらとみそさざいの気持ちに着目することで, 子どもたちは友達と一緒に嬉しくなると気づき, 友達の気持ちを考えようとする思いを高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○教材を読み, 近所に住む人の荷物運びを手伝う主人公についての感想や疑問を話し合い, 学習課題「どうして, 人に親切にするのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 友達の気持ちを考えようとすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年3学期

1年-No.27	ぐんまのこころ	C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度②	1月(1時間)
ねらい	郷土の偉人達の功績を知り, 我が国の文化を愛しいと感じる道徳的心情を養う。		
教材	うみ～林りゅうはといの上たけし～(ぐんまの道徳)		
主題構成の理由	導入では, 「うみ」を好きになる主人公の姿から, 子どもたちは日本の代表的な歌に愛着をもつことについての問題意識をもつことができる。展開では, 「うみ」の作詞者と作曲者が群馬県出身者であることに着目することで, 子どもたちは歌を身近に感じることができ, 我が県の文化に愛着をもつことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○「うみ」「おうま」「チューリップ」を歌った経験を振り返り, 学習課題「群馬県の素敵なおとこはどこだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 友達の気持ちを考えようとする事について, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり, 郷土の文化に愛着をもつことについて自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・群馬県をより身近に感じるように, 上毛かるたを導入に使用してもよい。			

1年-No.28	がいこくの人となかよく	C 国際理解, 国際親善①	1月(1時間)
ねらい	外国の人と仲よくするために, 他国との違いを受け入れようとする道徳的心情を養う。		
教材	エマさんのこたえあわせ(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, オーストラリアから来たエマさんがプリントの答えにチェックマークばかり付けていることに驚いた主人公の姿から, 子どもたちは外国と日本では違うところがあり, それを知らないことについて問題意識をもつことができる。展開では, 主人公が驚いた理由に着目することで, 子どもたちは他国との違いを考えることができ, 違いを受け入れることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○外国の人と関わった経験を想起し, 学習課題「外国の人と仲よくするために何が大切なのだろう」をつかむ。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 他国との違いを受け入れようとする事について, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
展開	○自分の考えを話し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。		
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年3学期

1年-No.29	こころのコントロール	○A 善悪の判断, 自律, 自由と責任②	2月(1時間)
ねらい	よいと思うことを進んでするために, 強い心をもって正直に過ごそうとする道徳的判断力を養う。		
教材	ひつじかいとおおかみ(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, うそをつき続けた主人公が本当のことを言っても信じてもらえなくなる姿から, 子どもたちは楽しいこととよいことの違いについて問題意識をもつことができる。展開では, うそをつき続けた理由に着目することで, 子どもたちは悪いことを繰り返してしまう心の弱さを考えることができ, 強い心でよいことをすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○ふざけて悪いことをしてしまった経験を想起し, 学習課題「いつもよいことをするためには, どうしたらよいだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 強い心をもってよいことをすることについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

1年-No.30	みんなでつかうもの	C 規則の尊重③	2月(1時間)
ねらい	誰もが気持ちよく生活するために, きまりを守り, みんなで使う物や場所を大切にしようとする道徳的判断力を養う。		
教材	きいろいベンチ(「どうとく ゆたかなこころ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 遊びに夢中になって, 公園のベンチやブランコのイスを汚してしまう主人公たちの姿から, みんなで使う物の使い方について問題意識をもつことができる。展開では, みんなで使う物のよい使い方とわるい使い方に着目することで, 誰もが気持ちよく生活できるように, きまりを守り, みんなのことを考えた使い方をすることの大切さに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○みんなでする物について発表し合い, 学習課題「みんなでする物は, どのように使うとよいのだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, みんなでする物の使い方について, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年3学期

1年-No.31	かぞくのあたたかさ	C 家族愛, 家庭生活の充実①	2月(1時間)
ねらい	子どもを思う母の気持ちに気づき, 家族を大切にしようとする道徳的心情を養う。		
教材	ぎんのしずく(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 星が3人の母親に銀のしずくを落とした姿から, 子どもたちは母の気持ちを理解することについて問題意識をもつことができる。展開では, 母が子どもを叱る理由に着目することで, 子どもを思う母の気持ちに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○家族の印象を発表し合い, 学習課題「どのお母さんも一番なのは, どうしてだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 子どもを思う母の気持ちについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】 ・関連-「かぞくの中のぼく・わたし」(家族のためにできることを考えさせるとよい。)計画を基に, チャレンジ1回目を行った後に実施する。			

1年-No.32	うつくしいところ	D 感動, 畏敬の念①	3月(1時間)
ねらい	相手を思いやる心に気づき, その心を美しいと思う道徳的心情を養う。		
教材	ひしゃくぼし(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では, 色が変わっていくひしゃくの様子から, 子どもたちは相手を思いやる心について問題意識をもつことができる。展開では, ひしゃくの色が変わった瞬間の主人公の行為に着目することで, 子どもたちは主人公の相手を思いやる心に気づき, その心の美しさを感じることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○周りの人に優しくすることを美しいと思う経験を想起し, 学習課題「本当に美しいものとは何だろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い, 学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり, 思いやる心を美しさについて, 自分との関わりで考えたりしたことを, 発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り, 分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し, 発表し合う。		
【備考】			

道徳 1年3学期

1年-No.33	わたしはどんなひと	A 個性の伸長①	3月(1時間)
ねらい	自分のよいところを伸ばすために、自分のよさを見つげたり認めたりしようとする道徳的実践意欲と態度を養う。		
教材	ぼくにもあるかな(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、自分のよさを見付けられずに悩む主人公の姿から、子どもたちは自分の長所について問題意識をもつことができる。展開では、母親から長所を言ってもらった主人公の気持ちに着目することで、子どもたちは自分の長所を考えることができ、よいところをより伸ばしていこうとする思いを高めることができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○自分の長所を振り返り、学習課題「自分のよいところを見付けるには、どうすればよいだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり、自分のよさを見付けたり認めたりしようとするということについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			

1年-No.34	わたしたちの学びゆう	C よりよい学校生活、集団生活の充実②	3月(1時間)
ねらい	学級や学校で楽しく過ごすために、先生や友達に親しんで生活しようとする道徳的心情を養う。		
教材	もうすぐニねんせい(「どうとく ゆたかなところ」光文書院)		
主題構成の理由	導入では、鍵盤ハーモニカが上手に演奏できて喜ぶ主人公の姿から、子どもたちは自分のできるようになったことが増えた理由について問題意識をもつことができる。展開では、できるようになった理由に着目することで、子どもたちは自分や友達のがんばり、周りの応援があって、自分が成長してきたことに気付くことができる。		
過程	学習活動	評価の視点<評価方法>	
導入	○1年間で自分たちができるようになったことを想起し、学習課題「できることが増えたのは、どうしてだろう」をつかむ。		
展開	○自分の考えを発表し合い、学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり、先生や友達に親しんで生活することについて、自分との関わりで考えたりしたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・表現カード>	
終末	○本時の学習を振り返り、分かったことやこれからもしていきたいことなどを表現カードに記述し、発表し合う。		
【備考】			